学校番号	119

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「古典Ａ物語選改訂版」　（大修館出版）						
副教材等	古典文法クリアノート（尚文出版）　新国語総合ガイド（京都書房） キーワードの卵（尚文出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では１，３年生の古典科目との関連を考慮し、古典を読解・鑑賞する能力を養い古典に親しみ、古典的素養を身につけることを心がけます。
・古典を読み、現代につながる伝統と文化を知り、朗読や話し合い・文章記述などアクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・古典としての古文と漢文の作品を読み、古典と特有の表現を味わい、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについての理解を深めます。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。語彙力や文法の知識を身につけ、授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法および分の構造を理解することができる。
・文章や作品の内容を構成や展開に即して的確に捉えることができる。
・文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすることができる。
・古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国の文化の関係について考える態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、わが国の伝統文化と中国文化に対する関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を正確に読み､古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを発展させている。	伝統的な言語文化および言葉の特徴などについて理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	観察（発言・発表）、授業への取り組み状況、提出物の状況（ノート、ワークシートなど）	観察（発言・発表）、音読・朗読、ワークシート、ノート点検、レポート、小テスト、定期考査など。	観察（発言・発表）、授業への取り組み状況、定期考査、提出物の状況（ノート、ワークシートなど）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1	説話	『今昔物語集』 「安部清明」 『十訓抄』 「大江山いくのの道の」 文法(用言の復習)・和歌の修辞	○	◎	○	a:文章を読み、古典の学習に興味・関心を持つ。 d:古典に表れている思想や感情を理解し、古文を口語訳できる。 e:古文の言語的特徴を理解する。	・観 察 (発言・発表)ノート、ワークシート、定期考査
1	故事	「画龍点睛」「知音」「漱石沈流」 句法(使役・詠嘆・再読文字)	○	◎	○	a:故事成語や格言の由来を知り、漢文学習への興味・関心を持つ。 d:　漢文に表れている思想や感情を理解する。句法に注意して、漢文を口語訳できる。 e:　漢文の言語的特徴を理解する。	・観 察 (発言・発表)ノート、ワークシート、定期考査
1	随筆	『枕草子』 「すさまじきもの」 「中納言参りたまひて」 文法(形容詞・形容動詞) (助動詞)	○	◎	○	a:文章を読み、古典の学習に興味・関心を持つ。 d:随筆に表れている作者の思想・判断基準を理解する。 古文を口語訳できる。 e:和歌の話の中での役割や特徴を理解する。	・観 察 (発言・発表)ノート、ワークシート、定期考査
2	史伝	『史記』 「鴻門之会」 句法　(疑問・反語)	○	◎	○	a:　長い漢文を読み、中国文化への興味・関心を持つ。 d:　漢文に表れている思想や感情を理解する。句法に注意して、漢文を口語訳できる。 e:　漢文の言語的特徴を理解し、知識を身につける。	・観 察 (発言・発表)ノート、ワークシート、定期考査
2	物語	『伊勢物語』 「初冠」 『大鏡』 「競べ弓」 文法(敬語) 『西鶴諸国ばなし』(井原西鶴) 「大晦日は合はぬ算用」	○	◎	○	a:歴史物語の面白さに触れ、古典で描かれる歴史に興味・関心を持つ。 d:歴史上の人物の思想や感情を理解する。　敬語表現に注意して、古文を口語訳できる。 e:近世の作品を通して、時代による言語的特徴を知る。	・観 察 (発言・発表)ノート、ワークシート、定期考査

3	物語・思想	『源氏物語』 「桐壺」「若紫」 敬語（尊敬語・謙譲語・丁寧語） 『論語』 「賢哉回也」 「過猶不及」	○	◎	○	a:和歌も交えた物語の面白さに触れ、古典で描かれる人物の心情に興味・関心を持つ。 d:和歌もふまえて、人物の感情を理解する。 敬語表現に注意して、古文を正確に口語訳できる。 e:古文と漢文を通して、それぞれの言語的特徴を知る。	・観察（発言・発表）ノート、ワークシート、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。